

やまばと分科会 (対象：やまばと学級 13名)

1 分科会提案

(1) 目指すよい学習像

やまばと学級が目指すよい学習とは、本の良さに気付いたり、友達の紹介する本に興味をもち、自分の読書の幅を広げたりすることができる学習である。

(2) 「よい学習」を実現するための手だて

① 本との対話、自分との対話、他者との対話の場面の設定。

児童が日常的に本に手を伸ばす意識を育むために、教師のお気に入りの本の紹介や読書タイムを設定し、日常的に読書の時間や本に触れる機会を増やす。また、学習のモチベーションを維持して活動に取り組むことができるようにするために、おすすめの本の魅力を紹介する取組「ビブリオやまばとル」を学習に取り入れる。本の紹介をするために必要なお気に入りメモを作る活動や「ビブリオやまばとル」の活動等において対話をする場面を設け、必要に応じて教員や支援員がサポートを行う。

② 学びの調整のための見通しと振り返りの設定

児童に学習の見通しをもたせるために、1時間毎に学習の流れを示したり、単元全体の学習計画を作成し掲示したりする。また、授業の最後には、毎回本時のめあてに対する学習の振り返りを行う。振り返りを行うことで1時間毎に学習内容を整理することができ、次の学習に役立てられると考える。

③ 実態に合ったビブリオバトルの設定

実施する予定のビブリオバトル（「ビブリオやまばとル」）は、本の魅力を紹介する取組である。学習意欲を高めることや相手を意識して本を紹介すること、本に対するイメージ向上を目的として行う。やまばと学級の実態に合ったルールを検討や図書室の活用等、指導の工夫を図る。

2 単元名 「お気に入りの本をしょうかいしよう」

教材名 「お気に入りの本をしょうかいしよう」（光村図書 国語2年上）

3 教材観

読書は、その人の想像力を広げ、生活を楽しくしたり、新しい知識や語彙を獲得させたりする良さがある。また、読書によって仮想体験をしたり、悩みを解消したりすることもできる、しかし、それは読書量や読む本の種類などに大きく左右される。これまで、文学的文章の学習では内容の大体を捉え、場面の様子に着目し、登場人物の行動や気持ちを具体的に想像しながら読んできた。本単元では、その力を発展させ、文章を読んで感じたことや分かったことを伝えることを目標とする。本単元「本は友だち」は、自分の読書生活を見つめ、多様な読書活動を体験することで、読書に親しむ態度を養うための学習である。自分がおもしろいと思う本を友達に紹介する活動を通して、改めて本の良さに気付いたり、友達の紹介する本に興味をもち、自分の読書の幅を広げたりする。

なお、教科書では「ミリーのすてきなぼうし」が掲載されているが、本学級の児童の実態や学習状況等を考慮して本単元では、「おおきなかぶ」や「スイミー」を学習に取り入れる。

本単元では、お気に入りメモの書き方を学ぶことに重点を置いて学習指導を行う。今後の学習の見通しとしては、本のジャンルを限定したり、ペアで紹介する作品を決めたりして「ビブリオやまばとル」を実施する。

4 単元の目標・評価規準

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
目標	・読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。(3)エ	・文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。C(1)カ	・本や読書に興味や関心をもち、進んで読書しようとする。
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・本の面白さや楽しさを感じている。 ・クラスメートの本の紹介を聞いて、身の回りにはいろいろな本があることに気付いている。(3)エ	・「読むこと」において、文章を読んで内容をつかみ、好きなどころを見つけて、紹介メモを書いている。C(1)カ	・本の紹介活動に興味や関心をもち、進んで本を紹介し合おうとしている。

5 児童の実態

本学級の児童の実態としては、日常的に本を読む習慣がなく、進んで読書をする児童が少ない。また、絵本の絵だけを見て読み進める児童や文章を正しく読み取ることが困難な児童、視覚的なハンディキャップがあり、文字を読むこと自体が苦手な児童もいる。事前アンケートの結果によると、本学級の約半数の児童が1か月に1冊も本を読まないと答えている。

6 指導計画

次	時	主な学習活動	・指導上の留意点 ◆評価規準 ☆評価方法
1次	1	①学習活動を知り、学習の見通しをもつ。 ②これまでに読んだ本を振り返る。 ③お気に入りメモの書き方を確かめる。	・教師のお気に入りの本の紹介を聞き、これからの学習への意欲を高めるようにする。(毎時実施する) ・これまでの読書記録や読み聞かせなどで読んだ本を用意し、読書経験を想起させやすくする。 ・紹介するために大切なことを確認する。 ◆お気に入りメモの書き方を理解し、書くことができる。 【思】☆記述
2次	2	④「おむすびころりん」を読んで、本のお気に入りメモを作る。	・題名、著者、登場人物、あらすじなどの内容の大体をつかませ、感想をもたせる。 ◆物語を読んで内容をつかみ、好きなどころを見つけて、お気に入りメモを作っている。【思】☆発言・記述
	3	⑤「おむすびころりん」を紹介し合う。	・同じ話を読んでも、読者によって感想が違うことに気付けるようにする。
3次	4(本時)	⑥「おおきなかぶ」、「スイミー」のどちらか1冊の本のお気に入りメモを作る。	・題名、著者、登場人物、あらすじなどの内容の大体をつかませ、感想をもたせる。 ◆自分の考えをもち、表出することができたか。【思】☆発言等 ◆意欲的に活動に取り組み、メモを作ることができたか。 【思】☆発言・記述
	5	⑦本を紹介し合い、感想を発表する。	◆友達の本の紹介を聞いて、読書への関心を高めている。 【態】☆観察・発言

4 次	6	⑧お気に入りの本（昔話）を決め、お気に入りメモを作る。（ペア）	◆自分が選んだ本を読んで、お気に入りメモを作っている。 【思】☆発言・記述 ・図書館など本が多くある場所で本を選ぶようにする。
	7	⑨本を紹介し合い、感想を発表する。 ⑩ビブリオやまばとルを行う。	◆お気に入りの本をクラスメートに紹介している。【知】 ☆観察・発言 ・ビブリオバトルを参考にし、やまばと学級の実態に合わせた活動を行う。

7 本時の学習(4/7時間目)

(1) 目標

意欲的に活動に取り組み、お気に入りメモを作ることができる。

(2) 展開

	○学習活動	・指導上の留意点 ◆評価規準 ☆評価方法
導入 (10分)	<p>○教師のお気に入りの本の紹介を聞く。 (「おおきなかぶ」と「スイミー」)</p> <p>○前時までの学習と単元のゴール、本時の学習のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師がビブリオやまぼとルの見本を示し、学習意欲を高める。 ・単元のゴールに向かって本時で何をするのか、単元計画をもとに確認する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> グループではなしあって、おきにいいメモをつくろう。 </div>	
展開 (30分)	<p>○自分がおもしろいと思う話を選び、グループに分かれる。(「おおきなかぶ」と「スイミー」)</p> <p>○お気に入りメモの書き方を確認する。</p> <p>○個人でお気に入りメモを作る。</p> <p>○グループでお気に入りメモを作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生に対しては、本時までに2つの話について学習する場を設定しておく。(個別学習の時間を活用する。) ・選ぶことが難しい児童と相談してグループの人数の偏りを調整する。 ◆自分の考えをもち、表出することができたか。【思】☆発言等 ・前時までの学習を振り返り、内容の整理をすることで、個人でメモを作る活動に取り組みやすくする。 ・次の学習活動の時間を確保するために、発言者を次々と指名し、テンポよく進める。 ・お気に入りメモには、題名と作者、おすすめポイント等を書かせる。 ・児童の実態に合わせた2種類のワークシートを用意する。 ・活発なグループ活動を行うために個人の時間を短く設定する。 ・早く終わった児童は他の児童にアドバイスできるようにする。 ・書くことが困難な児童に対しては、教師が聞き取り代筆する。 ・状況に応じて、2回に分けて行う。 ◆意欲的に活動に取り組み、メモを作ることができたか。【思】☆発言・記述
まとめ (5分)	<p>○本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習のめあてに対する振り返りを行い、学んだことや気付いたことを発表させる。

(3) 具体的な児童の姿と、目標の実現を目指すための手だて

十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	努力を要すると判断した児童 (C) への具体的な手だて
お気に入りメモの書き方を理解して作成し、おすすめポイントを伝え合うことができる。	個人やグループでの学習を通して、自分のおすすめポイントについて考え、見付けることができる。	おすすめポイントを見付けられない児童に対しては、教師が挿絵等を示しながらマンツーマンで聞き取り、物語の流れを確認する。

(4) 修正した本時の展開

	○学習活動 T 主な教師の発問 C 想定される児童の答え	・指導上の留意点 ◆評価規準 ☆評価方法
導入 (10分)	<p>○教師のお気に入りの本の紹介を聞く。 (「おおきなかぶ」と「スイミー」)</p> <p>○前時までの学習と単元のゴール、本時の学習のめあてを確認する。</p>	<p>・教師がビブリオやまばとルの見本を示し、学習意欲を高める。</p> <p>・単元のゴールに向かって本時で何をするのか、単元計画をもとに確認する。</p>
	グループではなしあって、おきにりメモをつくらう。	
展開 (30分)	<p>○自分がおもしろいと思う話を選び、グループに分かれる。(「おおきなかぶ」と「スイミー」)</p> <p>T 「おおきなかぶ」と「スイミー」のどちらのお話がおもしろいと思いますか。</p> <p>C おおきなかぶです。</p> <p>C どちらもおもしろいので選べません。</p> <p>○お気に入りメモの書き方を確認する。</p> <p>T それでは、お話を紹介するメモを作りましょう。お気に入りメモにはどんなことを書きますか。</p> <p>C 本の題名と書いた人です。</p> <p>C 登場人物とお話の内容です。</p> <p>C おもしろいところや好きなどころです。</p> <p>○個人でお気に入りメモを作る。</p> <p>T 選んだ本の題名と書いた人、おすすめポイントについて考えてお気に入りメモをつくりましょう。まずは、一人で考えましょう。その後、グループで考えましょう。</p> <p>T 早く終わった人は、まだ終わっていない人にアドバイスをしましょう。</p> <p>○グループでお気に入りメモを作る。</p> <p>T 個人ワークでは書けなかったことや特に、おすすめポイントについてグループで話し合いながらお気に</p>	<p>・学習をしていない1年生に対しては、本時までに2つの話について学習する場を設定しておく。(個別学習の時間を活用する。)</p> <p>・選ぶことが難しい児童と相談してグループの人数の偏りを調整する。</p> <p>◆自分の考えをもち、表出することができたか。【思】☆発言</p> <p>・前時までの学習を振り返り、内容の整理をすることで、個人でメモを作る活動に取り</p>
	文章を読み取ることが苦手な児童等に対しては、お気に入りの場面(ページ)を選ぶように指導する。	
		<p>・お気に入りメモには、題名と作者、おすすめポイント等を書かせる。</p> <p>・児童の実態に合わせた2種類のワークシートを用意する。</p> <p>・活発なグループ活動を行うために個人の時間を短く設定する。</p> <p>・早く終わった児童は他の児童にアドバイスをできるようにする。</p> <p>・書くことが困難な児童に対しては、教師が聞き取り代筆する。</p>

	<p>入りメモを作りましょう。 T 話し合ったことを教えてください。</p>	<p>・状況に応じて、2回に分けて行う。 ◆意欲的に活動に取り組み、メモを作ることができたか。【思】☆発言・記述</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>○本時の振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>選んだ観点を整理して、全体で共有する。 (ストーリー、情景、登場人物、文章表現等)</p> </div>	<p>・本時の学習のめあてに対する振り返りを行い、学んだことや気づいたことを発表さ</p>

8 板書計画

単元学習計画表

電子黒板
書画カメラの映像を映す。
(視覚的な効果、視覚的なハンディキャップがある児童に考慮する。)

がくしゅうのながれ

- ・めあてのかくにん
- ・おすすめ本けっぺい
- ・しょうかいメモをつくる
- ・ふりかえり

9 机間指導の目的(◎)と教師の言葉掛け(・)

- ◎ 価値ある対話をより価値のあるものにするために、児童の様子を確認しながら、個に応じて次のような言葉掛けを行う。
- ・ 本の題名、書いた人を考えよう。
 - ・ どんなお話だったか思い出してみよう。
 - ・ 自分が1番好きな場面を考えてみよう。
 - ・ 自分が1番覚えていることを考えよう。
 - ・ 自分が好きな登場人物のことを考えよう。
 - ・ 友達の話をしっかり聞いて、自分と同じところや違うところを探してみよう。
 - ・ 友達の話聞いて「なるほど。」と思ったことを覚えておこう。
 - ・ お話の内容をしっかり覚えていますね。
 - ・ 相手に伝わりやすい表現ですね。
 - ・ 登場人物の行動や気持ちについて考えられていますね。
 - ・ 自分の考えをしっかりと伝えられましたね。
 - ・ 読んでみたくなるような紹介ですね。